



理解度確認テスト 初級

模範解答

災害の基礎知識について

問1 ②	解説 ①大正12年 ②昭和36年 ③平成23年 ④令和2年(流行)
問2 ①	解説 天災プランを追加して活動をしてください。
問3 ②	解説 市が設置し(公設)、社協(民間)が運営します(民営)。
問4 ④	解説 ①犬 ③Do it Yourself(自身でやる) ③度【温度・角度(Degree)】の略語 ④Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)
問5 ②	解説 災害時の白地図は貴重です。情報はすぐに更新されます。
問6 ①	解説 災害対策本部は市が組織します。
問7 ②	解説 災害時は、いろいろな視点が必要です。
問8 ③	解説 家を建てる時に「棟上げ」「上棟式」などあります。
問9 ③	解説 パッククッキングで「焼き物」はできません。
問10 ④	解説 阪神・淡路大震災では、7割弱が家族も含む「自助」で助かっています。

災害ボランティアセンター運営について

問11 ④	解説 基本セクションは、7セクションあります。事前オリエンテーション、受付、活動紹介、活動オリエンテーション、送り出し・帰着、報告、ニーズ受付
問12 ①	解説 人は心理的に、人が集まっているところに集まると安心する傾向があります。 補助テキスト P6

問13	③	解説 青は、バイクです。被災地の偵察などしてもらいます。紫は決まってません。 補助テキスト P10
問14	②	解説 全て張り出すと、「したい活動」を選びがちです。 補助テキスト P14
問15	④	解説 ④は個人情報が含まれているので、絶対に見せません。 補助テキスト P18
問16	④	解説 ④金額は不要ですが、万が一のために公衆電話用に10円玉は持つとよいです。 補助テキスト P22
問17	①	解説 <small>りさい</small> 罹災証明は被災者が行政から発行されて受け取るものです。 補助テキスト P30
問18	③	解説 出来れば性別は混ぜて対応するとよいでしょう。 補助テキスト P32
問19	①	解説 初日以外は、連日活動するボランティアもいますので、スピーディーに対応します。 補助テキスト P6
問20	②	解説 最近ではスマホアプリも優秀ですが、地の利が一番です。 補助テキスト P18

講師からのコメント

防災士 西川 賢次 さん

災害ボランティアの活動については、明治年間に会津磐梯山の火山活動から災害時のボランティア活動を日本赤十字社が実施してきており、①の災害対策基本法が伊勢湾台風の後、制定されました歴史を考えるとよいと思います。法的根拠に基づいた活動が基本です。

今の災害ボランティア活動は2000年の東海豪雨災害が、全国で初めて官民が一体となって初めて成功した事例です。このことが現在多発している災害対応のボランティア活動の基本となっております。

各設問の解答例については、いろいろとありますが、再認識してください。

防災士 河合 美恵子 さん

お疲れ様でした。初めての試みでしたがいかがでしたか？簡単すぎと思われた方、ちょっと難しいと思われた方、問題に引っかかってしまった方、今までの実力を試すため何も見ずに解答された方、等いろいろあると思います。

問6での解答は①の避難所運営委員会です。もし皆さんの地域で避難所が開設された時にはぜひ率先して委員になって避難所を運営していきましょう。災害Vセンター運営について編では補助テキストのページを入れましたのでテキストを見直すきっかけとなればと思います。続いて中級、上級となりもう少し難しくなると思います。確認しながら進めましょう。